



KEIYU

Osaka Seikei Gakuen Alumni Association Community Newspaper

2024

No. 46



会員情報変更のお願い



<https://osaka-keiyukai.jp/wp/edit/>



会員情報変更手続き
専用ページ QRコード

学校法人 大阪成蹊学園

ご挨拶

陽春の候、蹊友会会員の皆様におかれましては、蹊友会活動にご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の沈静化の目途の立たないことを理由に、総会も敢え無く書面総会とさせていただいておりました。ようやく状況が好転しました昨年は、十分な対策を行った上でのイベント開催が可能であると判断し、学園の多大な協力の下、大阪成蹊大学駅前キャンパス見学会を

開催し、新学舎、こみちホール、食堂の見学をしていただくことができました。当日は、20歳代の若い卒業生の方をはじめ、80歳代の懐かしいお元気な卒業生の方まで多くの方にご参加いただきました。蹊友会は、老・壮・青とバランスのとれた厚い組織であることを実感し、諸先輩方が築かれてきた伝統の重みを受けとめ、役員一同が胸を熱くしました。

私達の母校大阪成蹊学園は、この厳しい時代の中、益々発展し続けて

います。この輝きの下、蹊友会も時代の変化に対応しながら改革を進め、母校に惜しみない支援をしたいと考えております。

引き続き会員の皆様のご理解とご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。最後に皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



大阪成蹊学園蹊友会 会長 藪田 一子

次の時代に向けて進化し続ける大阪成蹊学園

蹊友会会員の皆様の多大なご支援のもと、大阪成蹊学園は昨年創立90周年を迎え、学園全体の在籍者数は少子化の中にあって7,640名と創立以来過去最高の規模となりました。

そこで90周年記念事業として、世界の第一線で活躍されている演奏者の仲道郁代さんをお呼びし、相川駅前キャンパス「こみちホール」で記念コンサートを開催いたしました。仲道さん自ら選定いただいたsteinwayコンサートグランドピアノで珠玉の名曲を演奏いただき、地方自治体、関係団体、教育機関、企業等のたくさんの方々にお越しいただいたことは、誠に光栄であり大きな喜びであります。

90周年記念事業につきましては、蹊友会会員の皆様より多額のご寄付を頂戴いたしました。この場をお借りして改めて会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

現在、少子化等の影響により、教育機関をめぐる経営環境は極めて厳しくなっており、新しい時代の要請に応えた学部・学科の充実や、より多彩で専門性の高い教育活動の展開が求められています。2023年4月に大阪成蹊大学では、看護学部・データサイエンス学部の2学部を新設し、文・理・芸の揃った6学部の総合大学へと発展するなど、時代に合わせて進化を続けています。

次の時代に向けて、大阪成蹊学園では、これまで以上に確かな「人間力」を持った学生の育成を目的とする全学的な教育改革と、安定的な法人・学校運営を可能にする経営基盤・ガバナンスの強化に取り組んでまいります。より良い教育の場を創るべく、教職員が一丸となって、教育研究の充実に努めてまいります。蹊友会会員の皆様におかれましては、本年度も変わらぬご支援のほど、お願い申し上げます。



学校法人大阪成蹊学園 理事長・総長
(大阪成蹊学園蹊友会名誉会長) 石井 茂

専務理事就任ご挨拶

2023(令和5)年8月、学校法人大阪成蹊学園の専務理事に就任いたしました北本でございます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

大阪成蹊学園は、1933(昭和8)年の設立以来、輝かしい歴史を刻み続け、昨年、学園創立90周年、大阪成蹊大学開学20周年の記念すべき年に、データサイエンス学部と看護学部の二学部を開設、その拠点となる駅前新キャンパスをスタートいたしました。蹊友会の皆様の多大なご支援に改めまして心から感謝申し上げます。

現在、日本の私学経営は、少子化による市場変化に伴って、過去に経験のない厳しい経営環境に晒されております。しかし、その様な状況下

でも大阪成蹊学園においては、入学者数・在籍者数ともに増加を続けています。これは、2010(平成22)年から具体化されてきた教育環境充実のための大規模な施設・設備投資と、人間力教育の実践であるLCD教育プログラムによる学習の高度化が、学園の大きな魅力を生み出しているからです。学園トップの強いリーダーシップとともに、教職員が一丸となって取り組んできた「大阪成蹊学園パラダイム改革」の成果であることを確信しております。自信をもって社会に送り出せる「人間力豊かな人材の育成」が、社会からも高く評価いただき、トップ水準の就職実績を維持しております。学生・生徒自身が、その成長を実感し成果を発表

する場として、数多くのコンペティションも開催しております。蹊友会の皆様にも学生・生徒の成長の姿を是非ともご覧いただき、多くの励ましを頂戴できればと思います。

学園の歴史を築かれた先達の方々のご努力に負けぬように、これからも全力を挙げて取り組んでまいります。会員の皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますように、心からお願いを申し上げます。



学校法人大阪成蹊学園 専務理事 北本 暢

大阪成蹊学園同窓会 蹊友会ロゴ紹介

KEIYU

「KEIYU」の「I」の上部についているマークは、大阪成蹊学園の建学の精神にあります『桃李もの言わざれども下おのずから蹊を成す』から、桃李の実と葉をイメージしております。桃李の実を頭、葉を両手に見立て、大きく手を広げ、凜と立つ大阪成蹊学園で学ばれた卒業生の姿を表現しています。色は落着きのある優雅な紫を使用しております。

これからも更なる進化と発展を遂げる大阪成蹊学園の同窓生を繋ぐ、結束の象徴である蹊友会のロゴをお見知りおきください。



大阪成蹊大学 駅前キャンパス



大阪成蹊大学 駅前キャンパス

2023.11.25^{SAT} 駅前キャンパス見学会を開催しました！

Station campus tour

寒波到来の心配をよそに、「駅前キャンパス見学会」に晴れやかに多くの同窓生が集われました。来校された参加者が会場に向かって歩きながら「すごい立派な大学!」「子どもを通わせたかった」との声をいただき「孫を通わせるまで元気でない」と楽しい会話も聞かれ、やっとコロナが明けたのだと実感できたひとときでした。



荻田会長

こみちホール

いざ、こみちホールに進むと重厚なホールの造りに圧倒され、舞台上で上映された学校案内の映像に感動。見学会への期待が高まります。

会長挨拶を経て 三つのグループに分かれてお待ちかねの見学会。4階データサイエンス学部研究室フロアは、最新の設備と解放感溢れる広い空間があり、椅子や机を自由に移動させることができるオープンスペースも備わっていました。創作発想力が刺激されそうな空間に、座ってみたいと学生気分を満喫される姿も見られました。着席型の教室に慣れ親しんだ世代の方は驚かれたようです。6階看護実習室では衛生上の理由により、入室は叶わず窓越しの見学となりましたが、皆様興味津々のご様子。母校の繁栄に喜びの笑顔が溢れていました。8階食堂では窓越しに相川キャンパスが見えてカメラでパチリ。興奮が最高潮に達しました。手土産とお茶を手に自由に歓談タイムを楽しまれました。

自粛明け久しぶりの参加に、皆様喜び会話も弾みます。一人で参加の方も同窓生同士、和やかに交流され、グループでお越しの方も垣根を超えて盛り上がり、長時間のお喋りもまだ名残惜しい様子でした。行き違いで駅前キャンパスではなく、相川キャンパスに行かれた参加者も数名いらっしゃり迷われたそうですが、懐かしいキャンパスも見ることができてよかったと言ってくださり、胸を撫で下ろしました。

散会后、浜松から駆けつけた88歳米寿の方と87歳の同窓生がお越しになりました。8階食堂をご覧いただくと、大感激される姿にこちらが元気をいただきました。同窓生ということで、年齢も感じさせず 和気あいあいと「また来ますね」という言葉に次回の総会への期待を託されたようでした。

寄稿者 蹊友会役員 今里清美



食堂

参加者アンケートより

参加されたほとんどの方から、「参加してよかった。またイベントがあれば参加したい!」との声をいただきました。幅広い年齢層の卒業生にご参加いただき、遠方からお越しくださった方も多くいらっしゃいました。

綺麗で近代的なキャンパスで学ぶことができる学生さんが羨ましい。

駅から近く、新しい学部もできて、益々学園の発展と学生さん達の今後の活躍に期待し、母校を誇りに思う。

学生のことを考えた広いキャンパスで楽しく勉強ができそう。

最上階の食堂から見える景色が良かった。

自分の子供も通わせたい。

楽しく貴重な時間を過ごすことができた。

参加してくださった皆様、ありがとうございました!

Keiyukai Sakai

令和6年度 蹊友会総会のご案内

開催日 2024年7月20日(土)

大阪成蹊学園の発展と誇りを感じる新キャンパスに是非お集りください。

時間 13:10 <受付 12:40 ~>

会場 大阪成蹊学園駅前キャンパス こみちホール

特別講演

気象予報士 防災士
健康気象アドバイザー

蓬菜 大介氏

DAISUKE HORAI

講演タイトル

空を見上げて

~いまだから伝えたい大切なこと~



Daisuke Horai Profile

1982年 兵庫県明石市生まれ
2006年 早稲田大学政治経済学部卒業
2011年~ 読売テレビ気象キャスター。現在、読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」「かんさい情報ネットten.」「ウェークアップ」にレギュラー出演中。

2022年1月16日
ギネス世界記録「YouTubeで環境サステナビリティレッスンのライブストリームを視聴した最多人数」記録達成(2986人)

各地での講演活動の他、読売新聞(全国版)「空を見上げて」、読みテレ(WEB)「お天気ライブほうらい屋」などの連載コラム等、執筆活動も行っている。

・総会後は、気象予報士蓬菜大介氏による特別講演を開催します。
・総会は事前申し込みが必要です。

※詳細・申込方法はチラシもしくは蹊友会ホームページをご覧ください。 ※内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。



大阪成蹊学園 現役学生達の 目覚ましい 活躍をご紹介します

OSAKA SEIKEI GIRLS' HIGH SCHOOL 大阪成蹊女子高等学校

空手

ファイティングオープントーナメント
2023全日本空手道選手権大会 高校生女子53kg 以上 **★優勝**

第4回全日本空手道選手権大会 高校生女子無差別級 **★優勝**



昨年8月27日に開催された「第4回全日本空手道選手権大会高校生女子無差別級」で優勝することができました。高校生になり、対戦相手が自分より体格の大きい選手が多く、体力をつけるための練習を心がけています。一昨年もこの試合に出場し、2連覇を達成しました。私には高校在籍中に100勝するという目標があり、今回の試合で95勝目です。今後は一つひとつの試合を大切に、戦っていきたいと思います。

2年生 **岡部 ころこ**

ピアノ

2023年度 ピティナ・ピアノコンペティション全国大会本選
★2台ピアノ中級 ベスト5賞



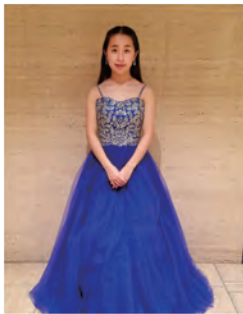
私はピティナ・ピアノコンペティションの2台ピアノで全国大会ベスト5賞を受賞することができました。小さい頃から出ていたコンクールで初の全国大会で賞までいただけて、本当に嬉しかったです。来年はソロの部門や、他のコンクールでも全国大会で賞をとってピアニストという夢を叶えることができたらと思います。友だちや家族の応援に感謝しながら、これからも頑張っていきます。

3年生 **高塚 美桜**

声楽

第3回国際声楽コンクール東京、西日本准本選 **★第3位**

第3回国際声楽コンクール東京 **★本選 出場**



高校生から声楽のレッスンを受けるようになり、初めて全国規模のコンクールに出場しました。このコンクールを受けることを決めてから、何度も自分の納得のいくような演奏ができなことに焦ってしまったり、自信をなくしてしまったりしましたが、先生や家族にたくさん助けてもらい、全国大会に出場することができました。これからたくさんの人に支えていただいていることに感謝をして、さらに良い演奏ができるよう頑張りたいと思います。

3年生 **山口 阿己**

チアダンス

全国高等学校ダンスドリル選手権大会
★SONG/POM部門 第5位



全国高等学校ダンスドリル選手権大会に出場し、5位に入賞することができました。目標にしていた部門優勝には届かず悔しい結果でしたが、演技時間2分間のために仲間たちと協力し練習してきた日々は何よりも大切なものです。その時間、場所を作ってください先生方、外部コーチの方々に感謝し、今年は部門優勝、再演技をする夢を叶えるため部員全員で全力で頑張っていきます。

チアダンス部 部長 3年生 **大谷 彩晴**

BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE びわこ成蹊スポーツ大学

サッカー

★Jリーグ(J2) ベガルタ仙台加入
2・3年次生 関西選抜 **★選出**
デンソーカップ茨城大会 **★優勝**



関西選抜としてデンソーカップに出場して、全国のレベルを体感することができ、またチームとして優勝することができて大変嬉しく思います。短期間でしたが、関西選抜のチームメイトからも多くのことを学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。今シーズンからはユース時代に所属していた「ベガルタ仙台」へ加入するので、サッカーを続けられることに感謝しながらJリーグの舞台で日々精進してまいります。

スポーツ学部スポーツ学科
2024年3月卒業 **工藤 真人**

バレーボール

★Vリーグ(V1) 東京グレートベアーズ加入



大学在学時に自分がプロ選手になるとは思ってもいませんでしたが、この度プロ選手として活動をさせていただくことになりました。男子バレーボール部としての活動もあり葛藤もありましたが、この巡ってきたチャンスを絶対に無駄にしたいとプロの舞台に挑戦することにしました。所属した東京グレートベアーズはバレーボール界で活発に活動しているチームで、日本代表レベルの選手も多く在籍しています。日頃からバレーボールのトップレベルを肌で感じているので、この経験を自分の成長に繋がられるよう頑張っていきます。

スポーツ学部スポーツ学科 4年次生 **五頭 寛大**

OSAKA SEIKEI UNIVERSITY 大阪成蹊大学

フットサル

第19 回全日本大学フットサル大会（令和5年度）**★優勝**

JFA第 29 回全日本フットサル選手権大会全国大会出場
★関西地域代表

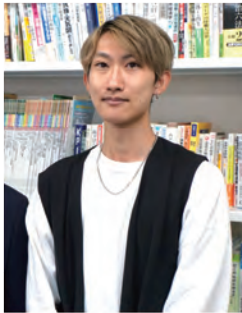


大阪成蹊大学フットサル部は、昨年の夏に行われた全日本大学フットサル選手権大会において、2連覇を達成することができました。この大会は、前大会覇者ということもあり厳しい大会になりましたが、どんな相手であっても部員全員で闘い抜くことができました。今後も成蹊らしく闘い、大学史上初のインカレ4連覇に向けて日々の練習から取り組んでいきたいと思っています。

経営学部 スポーツマネジメント学科 4年生
萩原 欣之介

就職

★吹田市役所就職



私は経営学部経営学科公共政策コースの一期生として入学し、授業とともに学内での公務員講座で試験対策に取り組んできました。また市長への政策提案などにも取り組みました。その中で、活気ある吹田市役所の組織風土に憧れ採用試験に臨み合格することができました。就職してからも熱意を絶やさず、自己成長を続け、市へ貢献していきます。

経営学部 経営学科公共政策コース
2024年3月卒業 **喜多村 航己**

OSAKA SEIKEI COLLEGE 大阪成蹊短期大学

就職

★京都銀行就職



小学生から夢だった銀行員になるため、より専門的知識を身につけたいと思い経営会計学科に入学しました。2年間という短い時間の中で、簿記やF Pなどの専門的な勉強と、接客業務に必要な対話力・プレゼン能力を高めるためグループワークや発表に積極的に取り組みました。その結果、念願であった京都銀行に就職することができました。これからはお客様に信頼される銀行員になるために、より気を引き締めて日々精進していきたいと思います。

経営会計学科
2024年3月卒業 **花田 智香**

データサイエンス学部

データサイエンス学部1期生 **★成績優秀**



私がデータサイエンス学部を目指したのは、今の時代は情報化社会で今後も情報を扱う人が必要になってくると思い、またデータサイエンティストを目指せるという点で魅力を感じたからです。授業では統計やプログラミング、グループワーク、プレゼンテーションなどの活動で必要な学習を進めています。少し難しい部分もありますが、他の人の意見を聞いて自分にはない考えもあり勉強になっています。復習や予習を行ったり、授業でノートをとり、わからないところは先生に尋ねたりしたことで理解が深まりました。

データサイエンス学部 2年生
松本 愛美

マンガ・デジタルアートコース

国際コミック・マンガスクールコンテスト2023 **★入賞**



普段から意識して行っているのですが、入賞した作品を制作する際も「新しい要素、やったことがないことに取り組むこと」を心がけました。普段描かない構図や服、世界観に挑戦し、自分の得意分野を出すことに注力しました。受賞作品については、所々でベースやデッサンなどの詰めの甘さが垣間見え、他受賞作品との発想力の差も感じました。まだまだ課題が山積みですが、現時点での実力を評価していただけたことはとても嬉しく思います。

芸術学部造形芸術学科
マンガ・デジタルアートコース
2024年3月卒業 **植田 亮平**

大阪成蹊大学大学院 教育学研究科教育学専攻

卒業生の「教育・研究の拠点」として
発展する大学院をめざして

蹊友会の皆様におかれましては、いつもご支援を賜り誠にありがとうございます。本学大学院教育学研究科は、社会人の入学・履修が可能となるよう、夜間開講や長期履修制度を設けています。現在も、教育・福祉・施設にとどまらず、健康、医療やスポーツと多様な分野で専門職業人として活躍されている方々が、勤務と学問を両立させながら研鑽されています。また修了された後も、本研究科を拠点に研究・実践を継続させ、活躍の幅を広げられています。蹊友会の皆様には、卒業生の「教育・研究の拠点」として本研究科の趣旨をご理解いただき、ご自身、またはご友人、知人の方々のキャリアアップの機会としてご検討いただきたく、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

大阪成蹊大学大学院教育学研究科長
安部 恵子



大阪市内小学校 専任勤務

私は大阪成蹊大学教育学部中等教育専攻保健体育教育コースを2022年3月に卒業し、大阪市の小学校に採用されました。勤務する中で、子どもに寄り添った支援や教育をするには、常に新しい情報を収集し、学び続けることの必要性を強く感じました。そこで、大阪成蹊大学大学院教育学研究科に進学し、教育学について更に学びを深め、健康教育や生理学の研究も深めております。大学・大学院で学んだことを活かし、これからも精進して参ります。

教育学研究科 2年次生
徳島 実友香



懐かし的大阪成蹊学園写真特集

昨年創立 90 周年を迎えた大阪成蹊学園の歴史を写真で辿ります。



開校当時の仮校舎・吹田観音寺

1933
昭和 8 年



学園全景

1961
昭和 36 年



高校校舎 本館玄関

1993
平成 5 年



めぐみ寮



こみち寮



むつみ寮



本館正面玄関

躍進期

変革期

発展期

漸進期

草創期

1934
昭和 9 年



短大・高校共用図書室

1971
昭和 46 年



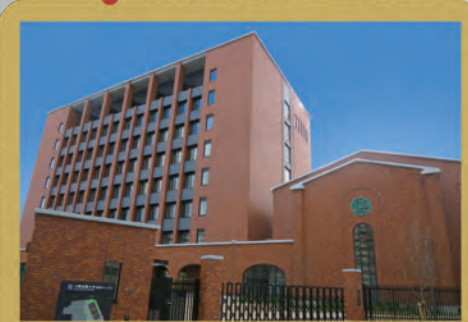
焼失した木造校舎跡に鉄筋 5 階建ての高校南館を建設

1980
昭和 55 年



学生ホール（現在は食堂ホール）

2003
平成 15 年



大阪成蹊大学駅前キャンパス開設

2023
令和 5 年

*to be continued
in the future*



相川へ移り新校舎が完成



近江舞子セミナーハウスの開設



びわこ成蹊スポーツ大学学舎竣工

GRADUATE TIMES

様々な世界で活躍する大阪成蹊学園卒業生の今にフォーカス

今につながる、一歩がそこに

有限会社オフィスティ勤務
大阪成蹊大学芸術学部非常勤講師

赤山 朝郎
ASAO AKAYAMA

大阪成蹊大学 芸術学部 デザイン学科卒業 <平成 19 年卒>



大事な友達に出会えた

私は大阪成蹊大学芸術学部のファッション領域で1年間、そのあと情報デザイン領域に編入し、残り3年間はグラフィックデザインのことを学びました。1年目のファッションデザイン領域では、縫製や服のパターン画を学び、普段着ている服がどのように出来ているのかを知ることが発見の毎日でした。パターンを引くことやミシンを使うことなど、なかなか一人暮らしの部屋では作業が難しく、大学の教室を使うことも度々ありました。クラスの友達と一緒に、夜な夜な制作をし、終わったら晩ご飯に行くという日々を送っていました。そこで出会った友達は、10数年経った今でも繋がっており私にとって大事な出会いとなりました。

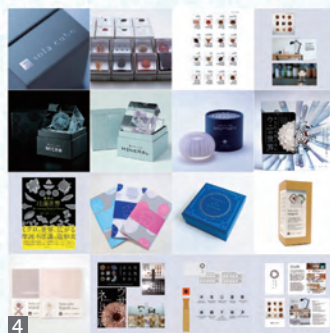
デザイナーとしての第一歩

2年目には、グラフィックデザインを学びたい想いもあり、情報デザイン領域へ。そこでは、ポスターやロゴ、WEBデザインの作り方を学びました。特に印象的だったのは、とある展覧会で先生のポスターを見た時のこと。文字だけのシンプルなものだったのですが、紙面の限られた面積の中に置かれた文字が、まるで美しい茶室のように、さりげなく、しかし置かれていることが必然のような計算された美しさがそこにありました。そのことに心を動かされたのは、デザインを学んでいたからこそだと思います。私がグラフィックデザイナーとしての道を歩み始める一つのきっかけとなりました。

こんなものが欲しかったと 思ってもらえるものを

現在私は、オフィスティという大阪のグラフィックデザイン事務所に勤めています。仕事は、企画提案から、ロゴ・カタログ・WEBのデザインなど多岐に渡ります。企業、大学、病院から個人経営のお店まで10人10色の相談事があるなか、デザインでの課題解決に日々挑戦しています。また、その他にも大阪成蹊学園蹊友会の役員や大阪成蹊大学芸術学部の非

常勤講師も務めています。グラフィックデザイン入門編をテーマに、デザインソフトの基本的な使い方、デザインの考え方を教えています。デザインをすることも、教えることも、まだまだ学ぶことはたくさんあります。あの時、先生の作品を見て心動かされたように、デザインと教育を通じて、誰かの心を動かすものを届けていきたいと、そう思っています。



1 NAGAYArt_ロゴ/チラシデザイン 2 デザイン造形演習 2 賞状デザイン 3 角座ライブスケジュールパンフレットデザイン 4 ウサギノネドグラフィックデザイン

人や自然との出逢いと学びが今の私の全て

びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ統括本部アウトドアスポーツセンター職員

水津 真委
MAI SUIZU

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 生涯スポーツ学科 野外スポーツコース <平成 23 年卒>
びわこ成蹊スポーツ大学大学院 スポーツ研究学科 スポーツ学専攻 <平成 27 年卒>



アウトドアスポーツとの出逢い

私は、びわこ成蹊スポーツ大学で野外スポーツに出逢い、育ち、この地域や自然が大好きになりました。アウトドア活動をするのが、楽しくて楽しくて仕方ない学生生活を送り、365日大学にいたような学生でした(笑)そんな中でも、ただ単に自然の中に身を置いて活動することが楽しかったのではなく、やはりそこには仲間の存在があったからこそ、楽しく学び、人としても成長でき、忘れられない日々になったのだと思います。びわこ成蹊スポーツ大学で出逢い、学んだこと全てが今の私につながり、綺麗な景色を見たことのない大人たちや未来を担う子どもたちに向けて、たくさんの自然体験からの学びや、人や自然との出逢い、そして心からの楽しい！を感じられる機会を作りたいと思い、アウトドアスポーツの指導者として今日に至ります。

人と自然と関わることは、日々学び

元々、体育教員を目指そうと思って、びわこ成蹊スポーツ大学に進学しました。ここで出逢ってしまったのが、3大実習です。そのうちの1つが、入学して1発目の授業である「フレッシュマンキャンプ」です。大学生として初めての授業が、テント泊あり、武奈ヶ岳登山ありの実習でした。ここで初めて出逢う友達と衣食住苦楽を共にすることで「仲間」となりました。今でも同級生たちとは、3大実習の話で大盛り上がりです。もう一つが、「先輩」の存在です。実習では、クラスごと(10名程度)で活動をするのですが、先輩がサポートしてくれるリーダーとして、アウトドア生活をサポート・指導してくれました。そんな先輩たちを見て、“指導することにあこがれ”を持つようになり、野外スポーツコースを専攻し、たくさんの経験を経て指導者を目指すようになりました。とは言え、野外教育者として簡単にここまで来れたわけ



ではありません。大学を卒業後は、公益財団法人大阪YMCA“阿南国際海洋センター”で社会人1年目という大事な時期に仕事の大変さやおもしろさ、そして、プロと

して人と関わり責任を持つということを学びました。その後、さらにアウトドアについてのスキル・知識を身に付け磨きたいと思いびわこ成蹊スポーツ大学大学院へ進学し、後輩指導



の他に、「自分を磨くことの楽しさ」に気づかされました。修了後はありがたいことに助手という立場で、「学生指導」に携わり、野外スポーツコースはもちろんのこと全学生の指導に携わり、本当に充実した日々を送ることができ、また自分を磨くことができました。その後、株式会社今治.夢スポーツ“しまなみ野外学校”でチーフディレクターとして企業研修や子供のキャンプ活動、森林開拓などを本格的に実行していく中で、人と自然と関わることは、日々、学びと気づきだと改めて感じました。

真剣に楽しみながら挑戦し続けたい

ここまでたくさんの苦労もありましたが、自分自身の経験値を上げるためにフィールドに出向いたり、資格を取りに行ったりと自分磨きを止めないようにしてきました。2022年にふるさとへ戻り、現在は大学内部組織として「BIWAKO Outdoor Sport Center」を立ち上げ、専任スタッフとして、アウトドアスポーツ関連の資格取得や指導者養成といった学生支援事業をはじめ、地域自治体や企業と連携したアウトドアスポーツおよび健康推進プログラムの提案などの地域貢献事業、組織力向上事業としてチームビルディング研修の本格化など幅広く展開しています。自然豊かな環境を活かした新しい取り組みとして、スポーツ文化の発展にアウトドアスポーツの魅力と効果をもって寄与していきます。

アウトドアスポーツを通じて、地域貢献や人材育成に力を入れ、積み重ねてきたことを活かせる場として、感謝の気持ちを忘れずに、この地で真剣に楽しみながら挑戦し続けたいと思います。



寄稿 *Contribute* いただきました。

恩師より



大阪成蹊大学芸術学部
造形芸術学科教授

室田 泉
IZUMI MUROTA

約束の場所へ

2003年大阪成蹊大学芸術学部開学より在職し21年が過ぎました。この4月より私は、イラストレーション・美術コースに所属しております。3月末までは、ファッション・コスチュームデザインコースに所属しており、21年の間で所属するコースも染織・テキスタイルコースからテキスタイル・ファッションコース、そして現在のコースへと変化しました。開学時、芸術学部のキャンパスは相川ではなく京都の長岡京市にあり、現在では、その当時のことを知る教員も少なくなってしまうしました。振り返ると開学時は教職員、学生も手探り状態でしたが一生懸命良い大学にしようと切磋琢磨する空気が流れていたと思います。それらが礎となり今の大学に繋がっ



ているのだと思っています。当時開設した学内ギャラリー〈space B〉も継続し多くの展覧会が行われ、私はその運営・企画に長年携わっています。2010年にスタートしたアート&デザインコンペティションも13回を迎え、このコンペを通して本学に入学してきた学生も多くなってきました。



先日、京都で開催していた私の展覧会に、卒業生が来てくれました。その彼は在学時代、夜遅くまで捺染室でシルクスクリーンプリントを行い、染色室で布を染めテキスタイル制作を熱心に行っていました。自ずと話をする時間も増え、テキスタイル制作の技術的なことだけでなく、音楽の話題、先輩達の学生時代、作家やデザイナーについて、社会で仕事をするなどについてよく話をしていました。また一緒に作業をすることも多く、私の制作を手伝ってもらったこともあり。そんな彼が、「先生の作品、昔からどうしても欲しかったんです、買います！」と会場で申し出てきました。「約束したじゃないですか、社会人になったら必ず買いに行きますって。」私は失念していましたが、どうもそんな話をしていたようです。彼の現在の勤め先も知っており、そうそう余裕がないのもわかっています。背伸びしてカッコつけて



申し出たのかもしれませんが、学生時代の会話を覚えてくれていて、訪ねてきてくれ、とても嬉しい気持ちになりました。私は、授業の内容だけに収まらない、はみ出したことも併せて伝えることが、学生の可能性を広げる一端になればと思っています。それは、昔から変わりません。一辺倒な内容なら、私よりもきつと上手く教えられる方がいるはず。でも私にしか見えないこと、私にしか感じないこと、私にしか経験できなかったことがあり、私の視点で伝えることが大切だと思っています。そして訪ねてきてくれた彼と過ごしたような時間を、今後も同じように続けていくつもりです。

2024年4月26日～6月2日の間、京都の染・清流館にて、20代の頃から現在までの作品をセレクトし展示する展覧会が開催されます。会期中ワークショップも企画していますので、卒業生の皆さん、久しぶりに作る体験をしにきませんか。



大阪成蹊女子高等学校卒業5人組で同窓会を開催しました！

大阪成蹊女子高等学校 卒業生 5名参加

工藤 敬子さん (旧姓：児玉)・和田 眞知子さん (旧姓：乾)・和田 順子さん (旧姓：楠本)
濱西 成子さん (旧姓：藤居)・友野 幸子さん (旧姓：谷川)

開催日：2023年5月30日 場所：大阪成蹊大学 相川キャンパス

「元氣な間に逢いたいね。どこで会う。」「成蹊(母校)へ行こう。」という話になり、五人で、昔懐かしい赤い校舎はなく、新しくなった校舎に目を奪われながら門を潜りました。校舎には入れませんでしたが、高校や私が学生の頃にはこみち幼稚園があった現在の大阪成蹊大学南館を外から見学しました。その後は、相川駅西側に建つ新校舎へ伺い、こみちホールからはピアノ練習中の学生さんの演奏も聞こえてきました。最上階の食堂の眼下には神崎川が、遠くには山並み、大阪の街々も。明るいオシャレな食堂からは安らぎを、全員で満悦しました。成蹊はわが母校です。

昭和 33 年大阪成蹊女子高等学校卒業
昭和 35 年大阪成蹊短期大学児童教育学科卒業

工藤 敬子 (旧姓：児玉)



蹊友会新聞に投稿しませんか？

蹊友会では、蹊友会新聞に掲載する、会員の皆様からの投稿を募集しております。
ご寄稿いただいた原稿・お写真は、蹊友会新聞第47号(2025年4月1日発行予定)に掲載させていただきます。

＼皆様のご投稿をお待ちしております。／

● 同窓会の開催報告 ●

恩師を囲んだ同窓会や久しぶりの仲間との再会、楽しいひと時のお写真にご感想を添えて、ぜひお送りください。
文頭に、以下の情報をご記入ください。

- ①投稿者(幹事)氏名 ②卒業年、学部・学科
- ③同窓会実施日

● 会員のみなさまの近況報告 ●

日々継続してがんばっていることや趣味の成果発表など、些細な出来事でも構いません。卒業してからも様々な分野でご活躍のことと思います。ぜひ新聞にて、同窓生の皆様に近況をお知らせください。

● 在学時の思い出 ●

同級生との何気ない会話、思い出の食堂メニュー、寮生活での出来事、こんな授業を受けていました、などの、当時の懐かしい思い出をお寄せください。

投稿方法

- ① E-mail info@osaka-keiyukai.jp

- ② 郵送先 〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3-10-62 大阪成蹊学園蹊友会事務局 宛

※いただいたお写真・原稿は返却できませんので予めご了承ください。

【投稿にあたって】
※投稿された内容が全て掲載されるとは限りません。
※また、校正は事務局で行い、ご寄稿いただいた方への確認は行いません。
※いただいたお写真、原稿は、一部加工させていただく場合がございます。
※以下のような投稿は、掲載を控させていただきますので、予めご了承ください。
・営利目的と判断されるような内容
・誹謗中傷と判断されるような内容
・大阪成蹊学園および大阪成蹊学園蹊友会の発展の妨げとなるような内容
・その他、掲載するにふさわしくないと判断されるような内容

蹊友会の支部・クラブOB会をつくりませんか？

蹊友会では、同窓生の交流の場、親睦を深める活動を応援しています。今後の同窓会活動の活性化・同窓生ネットワークの強化を目指し、蹊友会支部及びクラブOB会の設立を募集していますので、奮って申請してください。

設立に必要なもの

- ＜会員数＞ 10名以上（上限なし）の蹊友会会員
※会員以外は所属できません。
- ＜名 称＞ 「大阪成蹊学園蹊友会 ○○○」
※○○○は○○支部、大阪成蹊大学○○部OB会など任意
- ＜申請書類一式＞
 - ① 支部・クラブOB会等設立申請書
※所定様式は蹊友会ホームページよりダウンロード可能
 - ② 会則（案）※「大阪成蹊学園蹊友会○○支部会則（案）」等、ホームページの会則（案）例を参考に作成
 - ③ 役員名簿 ※会長1名、会計1～2名は必須
 - ④ 会員名簿
 - ⑤ その他 ※蹊友会役員会が要請した場合

以上の書類一式を蹊友会事務局宛に送付し、蹊友会役員会で審議され承認された団体には、総会や会合等の活動助成金が支給されます。

活動助成金について

承認された支部・OB会等への助成金は、以下のとおりとします。

■ 設立総会助成

- ・会場費……参加者1人あたり1,000円（上限5万円）
- ・飲食費……参加者1人あたり1,000円（上限5万円）
- ・通信費……実費（上限3万円）

■ 年間活動費助成

- ・会合運営補助費（飲食費含む）…参加者1人あたり1,000円（年間上限5万円）
- ・通信費……実費（上限3万円）

■ その他活動費

- ※蹊友会役員会で認められたもの
- ただし、蹊友会会員以外の参加する会合等には助成されません。また、全ての申請が承認されるとは限りません。

同窓会活動の更なる活性化



同窓生のネットワークの強化

＜年間活動報告について＞

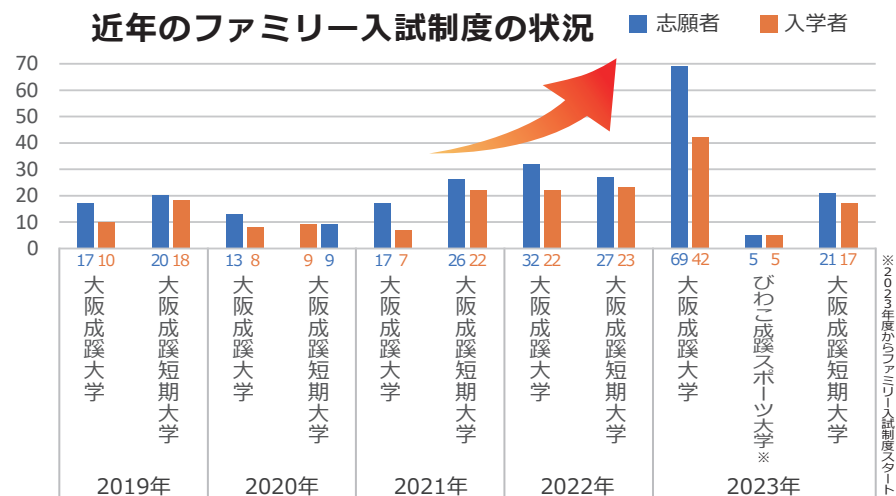
承認された団体は、当年度の「年間活動計画書」「年間予算案」を速やかに提出し、年度終了後は「年間活動報告書」「決算報告書」と、次年度の「年間活動計画書」「年間予算案」を毎年蹊友会へ提出し、活動の継続を報告してください。活動の停滞・休止、不適切な活動が認められた場合、蹊友会役員会から廃止または改組を勧告することがあります。

詳しくは「大阪成蹊学園同窓会 蹊友会」のホームページをご覧ください。



蹊友会支部及びクラブOB会等設置について

大阪成蹊大学、びわこ成蹊スポーツ大学、大阪成蹊短期大学 ファミリー入試制度



ファミリー入試は、受験者の3親等以内の方々が、大阪成蹊学園内の設置学校（大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学・大阪成蹊女子高等学校）の卒業生または在生学生であることが出願条件となります。またファミリー入試の合格者には、成績基準を充たしている場合、『学費減免制度』などの特典がございます。

年々、志願者数入学者数共に増加しています。



ファミリー入試紹介

会員情報変更の場合はお知らせください

- 住所変更（市町村合併等による住所表記変更含む）
- 改姓、改名
- 逝去
- 蹊友会からのご案内送付停止をご希望の場合



会員情報変更 お手続き方法

1

ホームページ

会員情報変更お手続き専用ページ

<https://osaka-keiyukai.jp/wp/edit/>



2

E-mail

info@osaka-keiyukai.jp

3

FAX

06-6340-0727

4

郵送先

〒533-0007
大阪府大阪市東淀川区相川3-10-62
大阪成蹊学園蹊友会事務局 宛

ホームページ以外（②③④）の方法でご登録の場合は、以下の項目をご記入ください。

1. 会員番号（宛名の下に記載）
2. 氏名（ふりがな）
3. 旧姓（ふりがな）※卒業時の姓
4. 新住所（郵便番号含む）
5. 電話番号
6. メールアドレス（任意）
7. 卒業校・学科
8. 卒業年

※海外への送付は行っておりませんので、ご了承ください。 ※蹊友会では現在、名簿の販売等は一切行っておりません。

蹊友会は、個人情報保護の重要性を深く認識し、個人情報の安全管理に努めながら同窓会活動を進めてまいります。蹊友会個人情報保護方針につきましては蹊友会ホームページの「個人情報保護方針」をご覧ください。（<https://www.osaka-keiyukai.jp/policy/>）
蹊友会からの送付物にお心当たりのない方は、お手数ですが蹊友会事務局までお知らせください。

大阪成蹊学園 蹊友会役員

- | | | | |
|----------------|------------------------------|--------------|---|
| ＜名誉会長＞ 石井 茂 | （大阪成蹊学園理事長・総長） | ＜会 計＞ 細川 恵子 | （平成22年 大阪成蹊女子高等学校 卒業
平成24年 大阪成蹊短期大学幼児教育学科 卒業） |
| ＜会 長＞ 藪田 一子 | （昭和39年 大阪成蹊女子短期大学初等教育学科 卒業） | ＜監 査＞ 谷口 智子 | （平成元年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業） |
| ＜副 会 長＞ 坂本 光江 | （昭和43年 大阪成蹊女子短期大学初等教育学科 卒業） | ＜監 査＞ 今里 清美 | （平成元年 大阪成蹊女子高等学校 卒業
平成3年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業） |
| ＜副 会 長＞ 神谷 香央里 | （平成19年 大阪成蹊大学現代経営情報学部 卒業） | ＜書 記＞ 倉岡 優恵 | （昭和59年 大阪成蹊女子高等学校 卒業
昭和61年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業） |
| ＜副 会 長＞ 鍋嶋 幸富 | （平成19年 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部 卒業） | ＜書 記＞ 赤山 朝郎 | （平成19年 大阪成蹊大学芸術学部 卒業） |
| ＜事務局長＞ 阪本 清美 | （昭和58年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業） | ＜書 記＞ 福井 未紗希 | （平成19年 大阪成蹊女子高等学校 卒業
平成23年 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部 卒業） |
| ＜会 計＞ 鍋嶋 静 | （平成24年 大阪成蹊大学芸術学部 卒業） | | |

KEIYU

令和4年度大阪成蹊学園蹊友会決算報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1. 収入の部

項 目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	差 異	備 考
前年度繰越金	74,524,859	74,524,859	0	
会 費 収 入	33,820,000	32,250,000	△1,570,000	大学・大学院 @20,000×481名 @10,000×121名 びわこ大・大学院 @20,000×343名 @10,000×7名 @20,000×436名 @10,000×134名 高校 @10,000×443名
協 力 金 収 入	1,000,000	2,844,890	1,844,890	
受 取 利 息 収 入	10,000	966	△9,034	
雑 収 入	0	0	0	
合 計	109,354,859	109,620,715	265,856	

2. 支出の部

項 目	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	差 異	備 考
新聞発行費	8,000,000	6,744,146	△1,255,854	新聞印刷費、発送費等
通 信 費	300,000	140,474	△159,526	協力金お礼状送付、ネット・電話料金等
総 会 費	4,000,000	3,924,241	△75,759	令和4年度総会中止案内Vガキ作成・発送費

教育・保育部会費	650,000	0	△650,000	教育フォーラム開催費
事 務 費	140,000	72,215	△67,785	封筒等事務用品購入費
会 議 費	300,000	95,011	△204,989	役員会開催費等
慶 弔 費	150,000	0	△150,000	
記 念 品 費	1,400,000	1,285,592	△114,408	卒業記念品費
委 託 料	2,800,000	1,800,770	△999,230	蹊友会事務局学費委託料等
交 通 費	220,000	36,000	△184,000	役員交通費
使途特定寄付金	7,000,000	2,539,730	△4,460,270	学生表彰及び強化クラブ活動支援
雑 費	100,000	63,475	△36,525	振込手数料、残高証明書発行手数料
広 告 宣 伝 費	650,000	55,770	△594,230	ホームページ作成、更新費
同 窓 会 補 助	5,000,000	0	△5,000,000	蹊友会親睦会活動費
支部等活動補助	2,000,000	0	△2,000,000	
将来計画積立金	3,500,000	3,500,000	0	学園周年事業積立
予 備 費	2,000,000	1,562,528	△437,472	令和4年度駅前キャンパス事務室什器購入
小 計	38,210,000	21,819,952	△16,390,048	
翌年度繰越金	71,144,859	87,800,763	16,655,904	
合 計	109,354,859	109,620,715	265,856	

将来計画積立金 41,000,000



経営学部

◆経営学科

- 経営コース
- 公共政策コース
- 食ビジネスコース

◆スポーツマネジメント学科

- ◆国際観光学科
- 国際観光コース
- 観光まちづくりコース
- 国際ビジネスコース

教育学部

◆教育学科

- 中等教育専攻
 - 英語教育コース
 - 保健体育教育コース
- 初等教育専攻
 - 初等教育コース
 - 幼児教育コース

◆大学院教育学研究科

- 教育学専攻（修士課程）

看護学部

◆看護学科

芸術学部

◆造形芸術学科

- マンガ・デジタルアートコース
- アニメーション・キャラクターデザインコース
- 2025年4月開設
 - ゲーム・CGデザインコース
 - バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース
 - グラフィックデザインコース
 - イラストレーション・美術コース
 - ファッション・コスチュームデザインコース
 - インテリア・プロダクトデザインコース

データサイエンス学部

◆データサイエンス学科



◆幼児教育学科

◆栄養学科

◆経営会計学科

◆調理・製菓学科

- 調理コース
- 製菓コース
- フードコーディネートコース

◆生活デザイン学科

- アパレル・ファッションコース
- 2024年4月開設
 - イラスト・アニメ・デザインコース

ファミリー入試制度のご案内

ご家族（受験者から三親等以内）のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置学校（大阪成蹊大学・びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊短期大学・大阪成蹊女子高等学校）の卒業生または在学学生である方が対象となります。ファミリー入試合格者のうち、成績基準を満たす方には学費減免制度がございます。

※2025年度入試につきましては変更になる場合があります。

お問い合わせ先

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 広報統括本部

TEL: 06-6829-2554（受付時間 平日9:00～17:00）

〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川113-10-62

E-mail: nyu@osaka-seikei.ac.jp

入試情報サイト: https://osaka-seikei-nyushi.jp



スポーツ学部

◆スポーツ学科

- 学校スポーツコース
- アスリートコーチングコース
- アウトドアスポーツコース
- スポーツ政策・文化コース
- スポーツビジネス・メディアコース
- スポーツパフォーマンス分析コース
- トレーニング科学コース
- 健康・スポーツ医科学コース

◆大学院スポーツ学研究科



普通科

- *総合キャリアコース *特進コース
- *英語コース *看護医療進学コース
- *幼児教育コース *スポーツコース
- *音楽コース

美術科

- *アート・イラスト・アニメーションコース

お問い合わせ先

びわこ成蹊スポーツ大学 入試部

TEL: 077-596-8425

（受付時間 平日9:00～17:00）

〒520-0503 滋賀県大津市北比良1204番地

FAX: 077-596-8496 E-mail: nyu@bss.ac.jp



大学ホームページ
https://biwako-seikei.jp



入試ナビ
https://bss-nyushi.jp

パソコン・スマホ・ケータイで大学案内・願書などの資料を請求する場合
https://telemail.jp 資料請求番号: 160891にアクセス

お問い合わせ先

大阪成蹊女子高等学校 募集広報企画室

TEL: 06-6829-2514

（受付時間 平日8:30～17:00 土曜日8:30～14:00※）

※長期休業中の土曜日は除く

E-mail: bosyu-hig@osaka-seikei.ac.jp



入試情報サイト: https://high.osaka-seikei.jp/ex_info/

ファミリー奨学金制度のご案内

下記の条件のいずれかに該当し入学された場合、奨学金支給の特典があります。

- ① 受験生の父・母・姉・兄のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置学校（ただし幼稚園を除く）の卒業生または在学学生（入学予定者も含む）である方
- ② 姉妹同時に入学される方（姉妹どちらにも適用されます）

※2025年度入試につきましては変更になる場合があります。